

# LEASE INFORMATION MANAGING SERVER, ITS CONTROL PROGRAM AND LEASE INFORMATION MANAGING SYSTEM

Publication number: JP2003141423

Publication date: 2003-05-16

Inventor: MONJU HIROYUKI

Applicant: GE CAPITAL LEASING CORP

Classification:

- International: G06F12/00; G06F12/14; G06F17/30; G06F12/00;  
G06F12/14; G06F17/30; (IPC1-7): G06F17/60;  
G06F12/00; G06F12/14; G06F17/30

- european:

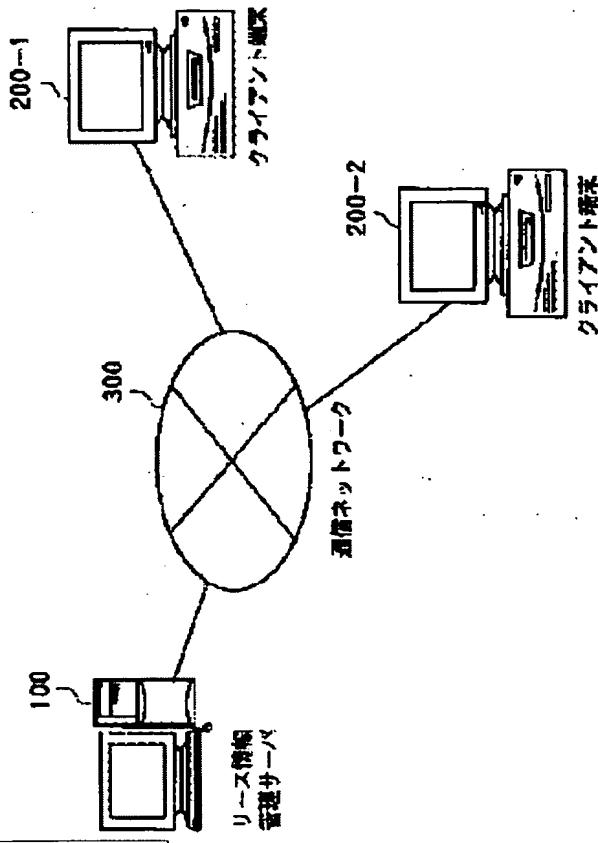
Application number: JP20010336829 20011101

Priority number(s): JP20010336829 20011101

[Report a data error here](#)

## Abstract of JP2003141423

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a lease information managing server, its control program and a lease information managing system capable of managing centralized many pieces of information relating to lease and independently managed by a lease company, a lease user and other users, restricting the accessible information on the basis of the accessing authority predetermined on the basis of the user's attribute, and improving the convenience in managing the information. **SOLUTION:** This lease information managing server 100 retrieves or updates the information on the basis of the accessing authority of an owner of the client terminal, when it receives the retrieving or updating request from the client terminal, a manager of the client terminal registers the customer's property information related to the lease contract information from the terminal, and a manager of the lease user registers the user of the lease property in the client terminal, and determines the accessing authority for every item of the lease contract information and the customer's property management information.



Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-141423

(P2003-141423A)

(43)公開日 平成15年5月16日(2003.5.16)

(51)Int. C1. <sup>7</sup>	識別記号	F I	マーク*(参考)
G 06 F 17/60	3 4 2	G 06 F 17/60	3 4 2 5B017
	3 3 0		3 3 0 5B075
	Z E C		Z E C 5B082
12/00	5 3 7	12/00	5 3 7 A
12/14	3 1 0	12/14	3 1 0 K
審査請求 未請求 請求項の数 15	OL	(全14頁)	最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-336829(P2001-336829)

(71)出願人 500224092

ジーイーキャピタルリーシング株式会社  
東京都港区赤坂一丁目14番14号

(22)出願日 平成13年11月1日(2001.11.1)

(72)発明者 文字 浩之  
東京都江東区福住1-8-7 ジーイーキャピタルリーシング株式会社内

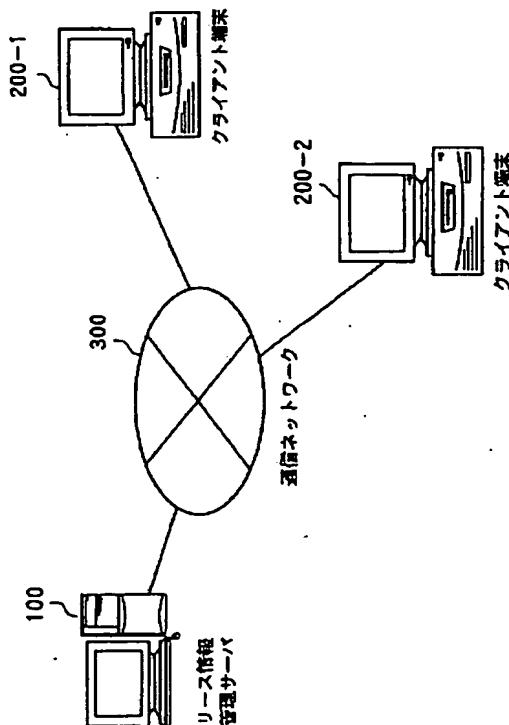
(74)代理人 100094053  
弁理士 佐藤 隆久  
Fターム(参考) 5B017 AA07 BA06 CA16  
5B075 KK07 KK43 KK54 KK63 KK64  
KK66 ND20 NK02 PP22  
5B082 EA11

(54)【発明の名称】リース情報管理サーバ、その制御プログラム及びリース情報管理システム

(57)【要約】

【課題】リース会社、リースユーザ及びその他の利用者によってそれぞれ個別に管理されているリース関連情報の一元的管理、利用者の属性などによって予め設定されたアクセス権限に基づきアクセス可能な情報を規定でき、情報管理の利便性を向上できるリース情報管理サーバ、その制御プログラム及びリース情報管理システムを実現する。

【解決手段】クライアント端末からの検索または更新要求を受けたとき、リース情報管理サーバ100はクライアント端末の所有者のアクセス権限に基づき情報を検索または更新し、また、クライアント端末の管理者は端末からリース契約情報に関連づけて顧客物件情報を登録し、さらにリースユーザの管理者がクライアント端末においてリース物件の利用者を登録し、かつ登録された利用者に対して、リース契約情報及び顧客物件管理情報の各項目毎にアクセス権限を設定する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】リース契約情報及びリース物件管理情報をデータベース化して管理し、リースユーザのアクセス権限に基づき上記リース契約情報及びリース物件管理情報の提供または変更を行うリース情報管理サーバであつて、

上記リースユーザのクライアント端末から送信される検索要求に応じて、上記リースユーザのアクセス権限を判断する判断手段と、

上記検索要求とともに送信される検索条件に一致する情報と上記データベースから検索する検索手段と、上記アクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有する場合、上記検索した情報を上記クライアント端末に送信し、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記検索要求を拒否する情報検索制御手段とを有するリース情報管理サーバ。

【請求項2】上記リースユーザから所定の情報を変更する変更要求を受けたとき、上記リースユーザのアクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記変更要求をした情報に対してアクセス権限を有する場合、上記変更要求に応じて上記情報を変更し、上記リースユーザが上記変更要求をした情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記変更要求を拒否する情報変更制御手段とを有する請求項1記載のリース情報管理サーバ。

【請求項3】上記リース契約情報に関連付けて上記リースユーザによって管理されているリース物件管理情報を登録する物件情報登録手段とを有する請求項1記載のリース情報管理サーバ。

【請求項4】上記リースユーザの入力情報に基づき、上記リース物件を使用する利用者の情報を登録する利用者情報登録手段とを有する請求項1記載のリース情報管理サーバ。

【請求項5】上記利用者登録手段は、上記利用者の識別情報を登録し、さらに上記利用者が上記リース契約情報及び上記物件情報登録手段によって登録した上記リース物件管理情報に対するアクセス権限を上記リースユーザの入力情報に応じて設定する利用者アクセス権限設定手段をさらに有する請求項4記載のリース情報管理サーバ。

【請求項6】通信ネットワークを介してリース情報サービスを提供するリース情報管理サーバの制御プログラムであつて、

上記リースサーバにおいて、リースユーザのクライアント端末から送信される検索情報に応じて、上記リースユーザのアクセス権限を判断する手順と、

上記検索要求とともに送信される検索条件に一致する情報をデータベースから検索する手順と、

上記アクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有する場合、

上記検索した情報を上記クライアント端末に送信し、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記検索要求を拒否する手順とを含む処理をコンピュータに実行させるリース情報管理サーバの制御プログラム。

【請求項7】上記クライアント端末から所定の情報を変更する変更要求を受けたとき、上記リースユーザのアクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記変更要求の情報に対してアクセス権限を有する場合、上記変更要求に応じて上記情報を変更し、上記リースユーザが上記変更要求の情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記変更要求を拒否する手順とを含む請求項6記載のリース情報管理サーバの制御プログラム。

【請求項8】上記リース契約情報に関連付けて上記リースユーザによって管理されているリース物件管理情報を登録する手順とを含む請求項6記載のリース情報管理サーバの制御プログラム。

【請求項9】上記リースユーザの入力情報に基づき、上記リース物件を使用する利用者の情報を登録する手順とを含む請求項6記載のリース情報管理サーバの制御プログラム。

【請求項10】上記利用者情報を登録する手順において、上記利用者の識別情報を登録し、さらに上記利用者が上記リース契約情報及び上記リース物件管理情報に対するアクセス権限を上記リースユーザの入力情報に応じて設定する手順とを含む請求項9記載のリース情報管理サーバの制御プログラム。

【請求項11】リース情報管理サーバと、通信ネットワークを介して上記リース情報管理サーバとにアクセスするクライアント端末とを含むリース情報管理システムであつて、

上記リース情報管理サーバは、上記リースユーザのクライアント端末から送信される検索要求に応じて、上記リースユーザのアクセス権限を判断する判断手段と、上記検索要求とともに送信される検索条件に一致する情報を上記データベースから検索する検索手段と、上記アクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有する場合、上記検索した情報を上記クライアント端末に送信し、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記検索要求を拒否する情報検索制御手段とを有するリース情報管理システム。

【請求項12】上記リース情報管理サーバに、上記リースユーザから所定の情報を変更する変更要求を受けたとき、上記リースユーザのアクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記変更要求の情報に対してアクセス権限を有する場合、上記変更要求に応じて上記情報を変更し、上記リースユーザが上記変更要求の情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記変更要求を拒否する情報変更制御手段とを有する請求項11記載のリ

ス情報管理システム。

【請求項13】上記リース管理サーバに、上記リース契約情報に関連付けて上記リースユーザによって管理されているリース物件管理情報を登録する物件情報登録手段を有する請求項11記載のリース情報管理システム。

【請求項14】上記リース情報管理サーバに、上記リースユーザの入力情報に基づき、上記リース物件を使用する利用者の情報を登録する利用者情報登録手段を有する請求項11記載のリース情報管理システム。

【請求項15】上記利用者登録手段は、上記利用者の識別情報を登録し、さらに上記利用者が上記リース契約情報及び上記物件情報登録手段によって登録した上記リース物件管理情報に対するアクセス権限を上記リースユーザの入力情報に応じて設定する利用者アクセス権限設定手段をさらに有する請求項14記載のリース情報管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、リース契約情報、リース物件情報などのリース関連情報を記憶しているリース情報管理サーバ、このリース情報管理サーバに接続しているクライアント端末に当該クライアントのアクセス権限に応じてリース情報サービスを提供するリース情報管理システム及びリース情報管理サーバの制御プログラムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】リース関連の情報を扱うコンピュータシステムとしては以下の文献、(1)特開平10-222579(製品のリース契約をクライアントサーバ間で行なうことが可能な方法)、(2)特開平10-116303号(物品レンタル契約処理装置)、(3)特開平08-069503号(リース会計処理装置)、(4)特開平08-069493号(リース物件管理装置)、(5)特開平07-129675号(商品契約販売管理办法)が知られている。

【0003】通常、リース物件について、リース会社とリースユーザ会社がそれぞれ独自に管理番号を付与して管理しており、また、多数のリース物件を管理するために紙によるリース物件台帳での管理のほか、リース物件関連の情報をデータベース化して、コンピュータにより管理する方法もある。例えば、リース会社において、各のリース物件にリース契約番号、またはリース物件検査番号などの独自の管理番号を用いて管理する。一方、リースユーザ会社では、備品番号、検査番号若しくはシリアル番号などを用いて社内でリース物件を一元的に管理していることが多い。

【0004】さらに、大量のリース物件を借り入れている大口リースユーザ会社では、多数のリース物件について個々の設置場所、利用する部署、従業員などの情報をまで正確に管理する必要があり、通常、このような大量

のリース物件関連情報をリースユーザ会社内でデータベース化され、個々のリース物件に識別するためのシリアル番号などが付与され、各シリアル番号に付随して、当該リース物件の設置場所、利用する部署、従業員をそれぞれの識別コードなどを付与してデータベースが構築されている。なお、以下の説明において、便宜上リースユーザ会社のことを単にリースユーザと略して表記する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、大量のリース物件を長期間にわたって利用しているリースユーザにおいて、個々のリース物件について設置場所、利用者などの情報を管理し、かつ必要なとき、該当するリース物件の契約情報、リース料の支払いなどの会計関連情報を迅速に取得し、リース物件の状態を正確に把握する必要がある。このため、リースユーザは、社内で用いられている管理番号とリース会社で用いられている契約番号、検査番号などのリース会社用の管理番号とを紐付けて、必要なときリース会社によって運用されているリース情報管理サーバから所定のリース情報を取得することを望んでいる。

【0006】また、リースユーザが協力会社に部品生産を委託する場合、必要な機材をリース会社から借り入れて協力会社に貸与する場合と、委託側が費用を負担して協力会社に機材を購入させる場合などがある。何れかの場合も委託生産部品とリース(または購入)した機材との関係、並びに機材を設置している協力会社の情報を管理する必要がある。

【0007】さらに、リース契約情報、リースユーザ

(委託側)が管理しているリース物件管理情報、協力会社(受託側)が管理しているリース物件管理情報などを一括して管理しながら、委託側及び協力会社両方で検索、参照、情報入力、更新などを利用できるようにすることで、リース物件情報を委託側及び協力会社の間で正確に管理することが要求される。この際、リース契約情報、リースユーザの物件管理情報、並びに協力会社の管理情報に基づいたキーワードで検索できることがリースユーザ及び協力会社の双方にとって望ましい。

【0008】また、委託側としてのリースユーザから見れば、複数の協力会社に仕事を依頼している場合、個々の協力会社にそれぞれの協力会社の属性に基づき情報の開示と情報のメンテナンス(新規情報入力、更新などを含む)の権限をそれぞれ個別に設定できるようにする要望がある。それによって、リースユーザのみがリース物件情報の管理を行うのではなく、実際にリース物件を使用している利用者も条件付きでリース物件管理情報を利用または更新できるので、情報管理の迅速化及び事務所の効率化をはかりたい要望がある。

【0009】しかし、これまでにこのようなリース情報管理システムは存在せず、リース契約情報、リース物件情報、並びにリース物件の管理情報がリース会社、リース

スユーザ及びリースユーザの協力会社によってそれぞれ別々に管理されており、これらの情報を一括して管理し、また必要に応じて関係者にそれぞれの属性、例えば、アクセス権限に応じて情報の開示及び変換などのメンテナンス手段を提供するリース情報管理システムの構築は、リース会社及びリースユーザ、さらにその協力会社にとって利便性が高く、リース関連情報を手軽に利用でき、また必要に応じて情報のメンテナンスを予め設定されている管理権限の範囲内で自由に行うことが待望されている。

【0010】本発明は、かかる事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、リース会社、リースユーザ及び他の利用者によってそれ各自別に管理されているリース関連情報を一元的に管理でき、必要な情報を関係者に開示し、情報の検索、照会及び更新を容易にでき、管理業務の迅速化と効率化をはかり、さらに利用者の属性などによって予め設定されたアクセス権限に基づきアクセス可能な情報を限定でき、情報管理の利便性を向上できるリース情報管理サーバ、その制御用プログラム及びリース情報管理システムを提供することにある。

#### 【0011】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明のリース情報管理サーバは、リース契約情報及びリース物件管理情報をデータベース化して管理し、リースユーザのアクセス権限に基づき上記リース契約情報及びリース物件管理情報の提供または変更を行なうリース情報管理サーバであって、上記リースユーザのクライアント端末から送信される検索要求に応じて、上記リースユーザのアクセス権限を判断する判断手段と、上記検索要求とともに送信される検索条件に一致する情報を上記データベースから検索する検索手段と、上記アクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有する場合、上記検索した情報を上記クライアント端末に送信し、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記検索要求を拒否する情報検索制御手段とを有する。

【0012】また、本発明のリース情報管理サーバの制御プログラムは、通信ネットワークを介してリース情報サービスを提供するリース情報管理サーバの制御プログラムであって、上記リースサーバにおいて、リースユーザのクライアント端末から送信される検索情報に応じて、上記リースユーザのアクセス権限を判断する手順と、上記検索要求とともに送信される検索条件に一致する情報をデータベースから検索する手順と、上記アクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有する場合、上記検索した情報を上記クライアント端末に送信し、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記検索要求を拒否する手順と含む処理をコンピュ

ータに実行させる。

【0013】さらに、本発明のリース情報管理システムは、リース情報管理サーバと、通信ネットワークを介して上記リース情報管理サーバとにアクセスするクライアント端末とを含むリース情報管理システムであって、上記リース情報管理サーバは、上記リースユーザのクライアント端末から送信される検索要求に応じて、上記リースユーザのアクセス権限を判断する判断手段と、上記検索要求とともに送信される検索条件に一致する情報を上記データベースから検索する検索手段と、上記アクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有する場合、上記検索した情報を上記クライアント端末に送信し、上記リースユーザが上記検索情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記検索要求を拒否する情報検索制御手段とを有する。

【0014】また、本発明では、好適には、上記リースユーザから所定の情報を変更する変更要求を受けたとき、上記リースユーザのアクセス権限の判断結果に基づき、上記リースユーザが上記変更要求の情報に対してアクセス権限を有する場合、上記変更要求に応じて上記情報を変更し、上記リースユーザが上記変更要求の情報に対してアクセス権限を有しない場合、上記変更要求を拒否する情報変更制御手段とを有する。

【0015】また、本発明では、好適には、上記リース契約情報に関連付けて上記リースユーザによって管理されている物件管理情報を登録する物件情報登録手段を有する。

【0016】また、本発明では、好適には、上記リースユーザの入力情報に基づき、上記リース物件を使用する利用者の情報を登録する利用者情報登録手段を有する。

【0017】さらに、本発明では、好適には、上記利用者登録手段は、上記利用者の識別情報を登録し、さらに上記利用者が上記リース契約情報及び上記物件情報登録手段によって登録した上記リース物件管理情報に対するアクセス権限を上記リースユーザの入力情報に応じて設定する利用者アクセス権限設定手段を有する。

#### 【0018】

【発明の実施の形態】図1は本発明に係るリース情報管理システムの一実施形態を示すブロック図である。図示のように、本実施形態のリース情報管理システムは、リース情報管理サーバ100、クライアント端末200-1、200-2及び通信ネットワーク300によって構成されている。

【0019】リース情報管理サーバ100は、リース会社、リース会社とリースユーザが共同で、若しくは第三者によって運用、管理されているサーバである。リース情報管理サーバは、データベース化されたリース契約情報、リース物件情報（以下、これらの情報を総じてリース情報と称する）を記憶する記憶装置、クライアント

端末からのアクセス要求に応じてデータベースから所定のリース情報を検索し、所定の検索条件を満たしたリース情報を通信ネットワークを介してクライアント端末に送信し、またクライアント端末の所有者に予め設定されたアクセス権限に基づきクライアント端末から入力されるデータに応じて、リース情報を更新する制御装置、また、通信ネットワーク300との間に情報の授受を行うインターフェースなどを含む。なお、リース情報管理サーバ100は、例えば、汎用または専用のコンピュータによって構成することができ、この場合、記憶装置は、例えばコンピュータに備えられているハードディスク、磁気ディスクなどの記憶媒体及びその駆動装置によって構成され、制御装置は、例えばCPUで構成される。

【0020】本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リース情報管理サーバ100は、リース情報をクライアント端末からのアクセス要求に応じて、通信ネットワーク300を介してクライアント端末に提供するほか、リースユーザ及びその協力会社に独自のリース物件管理情報を格納する記憶領域を提供する。リースユーザ及びその協力会社の管理者またはオペレータは、それぞれのクライアント端末を用いて独自のリース物件管理情報に基づきデータベースを構築し、通信ネットワーク300を介してリース情報管理サーバ100に送信し、リース情報管理サーバ100によって所定の記憶領域に保存する。そして、これらのリース物件管理情報は、リース情報管理サーバ100によって管理されているリース契約情報及びリース物件情報と関連付けて一括管理することができる。例えば、ある特定のリース物件に対して、リース会社で用いられる契約番号、検収番号などの識別情報と、リースユーザで用いられているシリアル番号などの識別情報がそれぞれ異なるが、リース情報管理サーバ100は、これらの異なる識別情報を紐付けて、その関係を示すファイルを作成して保存したり、または、関連付けを示すデータベースを構築したりすることで、リース会社で用いられている契約番号などの識別情報とリースユーザで用いられているシリアル番号などの識別情報を一元的に管理する。これによって、リース会社、リースユーザ及びその協力会社の管理者、オペレータは、それぞれ独自で使用している識別情報をキーワードとして、リース情報管理サーバ100に保持されているリース情報から、所望の情報を検索し閲覧することができる。

【0021】また、本実施形態のリース情報管理サーバ100は、リースユーザ及びその協力会社に対して、所定のリース情報に対するアクセス権限を付与することができる。例えば、リース会社が複数のリースユーザにリース物件を貸し出す場合、それぞれのリースユーザにそのリースユーザが契約しているリース物件の情報のみを閲示する。それぞれのリースユーザに閲示する情報と閲示しない情報を個別に設定できるようにすれば、リース

情報の開示及びリースユーザ間の情報の利用をスムーズにでき、リースユーザにとって機密性の高い情報を保持でき、異なるリースユーザ間の情報漏れを防止できる。

【0022】クライアント端末200-1、200-2は、例えば、リースユーザによって所有されている端末装置であり、通常市販されているコンピュータ、例えば、パーソナルコンピュータを使用することができる。また、リースユーザが委託側として協力会社に仕事の依頼をする場合、クライアント端末200-1は、例えば、リースユーザによって所有され、クライアント端末200-2は、例えば、協力会社によって所有される。リースユーザの管理者またはオペレータは、クライアント端末200-1を使って、ネットワーク300を介してリース情報管理サーバ100にアクセスし、必要なリース情報を検索、閲覧し、または独自のリース物件管理情報をまとめてデータベースを構築し、リース情報管理サーバ100によって提供されている記憶領域にこのデータベースを格納して、必要に応じてデータベースの情報を利用または更新することができる。

【0023】また、同様に、リースユーザの協力会社の管理者またはオペレータは、クライアント端末200-2を用いて、ネットワーク300を介してリース情報管理サーバ100にアクセスし、必要な情報を検索、閲覧し、また、独自のリース物件情報に基づいて作成したデータベースをリースサーバ100によって提供された記憶領域領域に格納し、必要に応じてこのデータベースの情報を利用または更新する。

【0024】なお、リースユーザとその協力会社は、リース会社によって提供された所定のリース物件の情報を共有することが可能である。ただし、1つのリースユーザが複数の協力会社に仕事を依頼する場合、それぞれの協力会社に均等にすべての情報を無制限に提供することは、リースユーザにとって都合がよくなく、例えば、リース物件の契約情報のうち、リース料金、支払い状況などの会計情報を協力会社に開示したくない場合がある。さらに、複数の協力会社が存在する場合、一つの協力会社に提供しているリース物件に関する情報をその他の協力会社に開示したくない場合が考えられる。このため、リースユーザによって、それぞれの協力会社に個別の情報についてアクセスの権限を設定する必要がある。

【0025】本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リースユーザは、それぞれの協力会社について個別のリース物件に対してアクセスの権限を設定することができる。このアクセス権限のうち、検索、閲覧など単に情報を利用する権限と、情報を入力し、また既存の情報を更新するメンテナンス権限などをそれぞれ個別に設定することもできる。

【0026】このように、本実施形態のリース情報管理システムにおいて、それぞれのリースユーザに対して、リース情報管理サーバ100によって提供されているリ

ース情報に対してアクセスの権限を設定することができ、さらに、各リースユーザーによって、そのリースユーザーが仕事を委託している協力会社に対してそれぞれのアクセス権限を設定することが可能である。即ち、本実施形態のリース情報管理システムにおいて階層的にアクセス権限を設定することができる。これによって、リース情報管理サーバ100は、クライアント端末200-1または200-2からのアクセス要求に応じて、それぞれのアクセス権限に応じて情報を提供し、また情報のメンテナンスを行う。リースユーザーは、リース情報管理サーバ100から、自分のアクセス権限によって設定された範囲内のリース情報を自由に利用することができ、また、リースユーザーの協力会社は、委託側のリースユーザーによって設定されたアクセス権限によって規定された範囲内のリース情報を自由に利用することができる。

【0027】通信ネットワーク300は、ここで、インターネットを想定しているが、本実施形態では、通信ネットワーク300の利用形態は特に限定せず、ローカルネットワーク(LAN)、専用または汎用の通信回線、または一般的な電話回線、移動通信用無線ネットワークなどを利用することもできる。

【0028】図2は、本実施形態のリース情報管理システムの動作を示すフローチャートである。以下、図1に示すシステムの構成図及び図2に示すフローチャートを参照しながら、本実施形態のリース情報管理システムの動作について説明する。

【0029】図2に示すように、まず、リースユーザーまたは協力会社の管理者若しくはオペレータがクライアント端末200-1または200-2の表示画面において、ユーザIDとパスワードを入力する(ステップS1)。入力されたユーザID及びパスワードが通信ネットワーク300を介してリース情報管理サーバ100に送信される。

【0030】リース情報管理サーバ100において、クライアント端末から送信してきたユーザID及びパスワードを受信して、これらの情報によって照合を行う。例えば、リース情報管理サーバ100は、データベースのユーザ識別情報に基づき、受信したユーザID及びパスワードで照合して一致判定を行う。判定の結果、ユーザID及びパスワードの両方がデータベースにあるユーザ識別情報の内容と一致した場合、サーバへのアクセスを許可し、一致しない場合、サーバへのアクセスを拒否する。さらに、アクセスを許可した場合、データベースからそのクライアント端末の利用者のアクセス権限が取得される。リース情報管理サーバ100は、このアクセス権限に基づき、当該クライアント端末に提供する情報を選択し、また、当該クライアント端末からの更新要求に応じて、アクセス権限によって規定された範囲内で情報の更新を行う。

【0031】アクセスを許可した場合、リース情報管理

サーバ100は、クライアント端末にメニューを表示するためのデータを送信する。これを受信したクライアント端末は、表示画面にメニューを表示する(ステップS2)。このため、クライアント端末を操作するオペレータは、メニュー画面の表示情報に従って、所定の処理メニューを選択して実行することができる。

【0032】なお、クライアント端末の画面に表示されるメニューには、「情報検索」、「情報変更」のほか、例えば、「顧客情報入力」、「アンケート」、「お問い合わせ」及び「ログアウト」などのメニューも含まれる。ここで、説明を簡略化するために、これら複数のメニューのうち、「情報検索」と「情報変更」の二つのみについて説明する。他のメニューについて、「顧客情報入力」は後に説明し、また、それ以外のメニューについて、通常行われている処理とほぼ同じである。例えば、一例として、クライアント端末のオペレータが「ログアウト」メニューを選択した場合、クライアント端末からログアウト命令がリース情報管理サーバ100に送信されるので、これに応じてリース情報管理サーバ100は、クライアント端末との通信を終了する。

【0033】まず、「情報検索」メニューが選択された場合の処理について説明する。図2に示すように、「情報検索」メニューが選択されたとき、処理Aが行われる。即ち、クライアント端末のオペレータが表示画面から「情報検索」のメニューを選択したとき、クライアント端末に検索項目の入力画面が表示される。この入力画面に表示されているメッセージに従って、オペレータが検索を行う項目とともに、検索するためのキーワードなどを含む検索情報を入力する(ステップSA1)。そしてクライアント端末によって、検索項目名、検索用キーワードなどとともに、検索要求がリース情報管理サーバ100に送信される(ステップSA2)。

【0034】リース情報管理サーバ100はクライアント端末からの検索要求を受信すると(ステップSA2)、まずクライアント端末の所有者が検索する情報へのアクセス権限の有無を確認し、当該確認の結果に応じて検索要求を受け入れるかまたは拒否する(ステップSA3, SA4)。ここで、リース情報管理サーバ100によって確認が行われるアクセス権限は、情報を検索、閲覧または照合する利用権限である。なお、このアクセス権限は予め各リースユーザー及びそれぞれのリースユーザーの協力会社について設定されているものである。また、上述したように、各リースユーザーによってそれぞれのリースユーザーの協力会社に対してアクセス権限を設定する、いわゆる階層化されたアクセス権限の設定が行われる。このような階層化の権限の設定によって、各リースユーザー、そしてそれぞれのリースユーザーの委託先である協力会社にアクセス権限が設定される。

【0035】情報検索を要求したクライアント端末の所有者がその要求した情報に対してアクセス権限を持って

いれば、リース情報管理サーバ100はクライアント端末から送信してきたキーワードに基づき情報を検索し、キーワードに合致した情報を見つけてクライアント端末に送信する（ステップSA5）。一方、クライアント端末の所有者が検索要求をした情報に対してアクセス権限を持っていないければ、リース情報管理サーバ100は、クライアント端末にアクセス拒否の信号を送信する（ステップSA6）。これを受けたクライアント端末の表示画面に検索しようとする情報に対してアクセス権限がないため、検索要求が拒否されるメッセージが表示される。

【0036】次に、「情報変更」メニューが選択された場合の処理について説明する。図2に示すように、「情報変更」メニューが選択されたとき、処理Bが行われる。即ち、クライアント端末のオペレータが表示画面から「情報変更」のメニューを選択したとき、クライアント端末に変更する項目の入力画面が表示される。この入力画面に表示されているメッセージに従って、オペレータが変更を行う項目を選択し、変更を行う情報を入力する（ステップSB1）。そしてクライアント端末によって、変更項目名、変更内容などとともに、変更要求がリース情報管理サーバ100に送信される。

【0037】リース情報管理サーバ100はクライアント端末からの変更要求を受信すると（ステップSB2）、クライアント端末の所有者が変更する情報項目へのアクセス権限を持っているか否かを確認し、当該確認の結果に応じて情報変更の要求を受け入れるかまたは拒否する（ステップSB3, SB4）。ここで、リース情報管理サーバ100によって確認が行われるアクセス権限は、情報を変更する権限、即ち、リース情報管理サーバ100によって記憶されている情報に対して変更、更新などのメンテナンスを行う権限である。

【0038】情報変更を要求したクライアント端末の所有者が変更を要求した項目の情報についてメンテナンスの権限を持っているれば、リース情報管理サーバ100は、クライアント端末から送信してきた変更情報に基づき、記憶装置に格納されている情報のうち、変更が要求された項目の内容を新しい内容に書き換え、情報の変更を行う（ステップSB5）。一方、クライアント端末の所有者が変更要求をした情報に対してメンテナンスの権限を持っていなければ、リース情報管理サーバ100は、クライアント端末に情報変更拒否の信号を送信する（ステップSB6）。これを受けたクライアント端末の表示画面には、変更しようとする情報に対してメンテナンス権限がないため、変更要求が拒否されるメッセージが表示される。

【0039】次に、上述した情報検索及び情報変更処理、並びにリースユーザまたはその協力会社による情報入力、及びアクセス権限の設定についてそれぞれ説明する。図3は、情報検索処理時クライアント端末の表示画

面の一例を示している。図2に示すように、クライアント端末のオペレータがクライアント端末の入力画面において、ユーザIDとパスワードを入力すると、これらのユーザ識別情報がリース情報管理サーバ100に送信され、リース情報管理サーバ100において入力された情報を用いてデータベースの蓄積情報を照合した結果、ユーザIDとパスワードがデータベース内のユーザ識別情報と一致したとき、クライアント端末からのアクセスを受け付け、当該クライアント端末にメニュー画面表示するための情報またはメニュー画面表示の指示を送信する。

【0040】クライアント端末のオペレータが表示画面において「情報検索」のメニューを選択した場合、リース情報管理サーバ100から情報検索のための表示画面用データが送られるか、またはクライアント端末に予めインストールされたアプリケーションプログラムの表示画面用データが読み出され、この表示データに基づきクライアント端末の表示装置（ディスプレイ）に図3に示す検索用画面が表示される。

【0041】図3に示すように、情報検索画面にお客様コード、リーススタート年月、リース満了年月などの検索項目を入力するスペースが設けられている。さらに、お客様管理情報に基づく検索処理を行うため、ユーザによって検索項目名を指定し、指定された項目の検索情報（キーワード）を入力することによって、リース情報管理サーバ100は当該検索項目にてユーザが入力されたキーワードを用いて、情報の検索を行う。なお、ここで、お客様管理情報とは、リースユーザまたはその協力会社によって独自に用いられているリース物件管理情報のことを言い、例えば、リースユーザが独自に使用している管理番号、シリアル番号、リース物件の設置場所、利用者情報などである。なお、これらの情報の入力及びそれとの情報のアクセス権限の設定について後に説明する。

【0042】クライアント端末のオペレータは、お客様管理情報において、検索項目名を指定して、その検索項目の入力欄に検索したい情報を入力すれば、これらの情報に基づきリース情報管理サーバ100はクライアント端末の所有者のアクセス権限を判断し、判断結果に応じて、検索処理を行うかまたは検索要求拒否する。検索項目名の指定は、例えば、項目名を直接キー入力する方法と、図3に示すようにプルダウンメニューで選択する方法がある。何れかの方法によって検索項目が選択されたのち、当該検索項目に対応する検索情報の入力が行われる。

【0043】上述したように、クライアント端末のメニュー表示画面において「情報検索」が選択された場合、図3に示す検索用画面が表示される。オペレータは、この表示画面において検索項目を指定し、その検索項目に対応する検索情報入力欄に必要な検索情報、例えば、キ

一ワードを入力すれば、検索項目名及びその検索項目に 対応する検索情報がクライアント端末からリース情報管理サーバ100に送信される。リース情報管理サーバ100は、検索要求を送信したクライアント端末の所有者が検索しようとする情報へのアクセス権限を判断し、アクセス権限を持っていれば、データベースの所定の項目からキーワードに合致した情報を見つけて、クライアント端末に提供する。一方、クライアント端末の所有者がその情報へのアクセス権限を持っていない場合、検索要求を拒否する。

【0044】これによって、リースユーザまたはその委託を受けている協力会社の管理者またはオペレータは、それぞれのクライアント端末を用いてリース情報管理サーバ100にアクセスし、表示メニューから「情報検索」メニューを選択し、さらにクライアント端末に表示された検索用画面から検索項目を選択し、選択された検索項目に対応した検索用キーワードなどの検索情報を入力することによって、自分に付与されているアクセス権限によって規定された範囲内において、すべての情報を自由に検索して必要な情報を閲覧することが可能である。これによって、本実施形態のリース情報管理システムにおいて、それぞれのリースユーザ及び各リースユーザの協力会社にとって、予め付与されたアクセス権限によって設定された範囲内においてリース情報管理サーバ100によって管理されているリース情報を自由に利用できる。

【0045】さらに、この情報検索は、リース会社が保有しているリース契約情報、リース物件情報を対象とするほか、リースユーザ及びその協力会社が独自に入力した物件管理情報をも対象とすることが可能である。これによって、リースユーザ及びその協力会社の管理者またはオペレータは、リース情報管理サーバ100によって保有されているリース契約情報、リース物件情報以外に、自社で独自に用いられている管理番号、設置場所などの情報に基づき情報検索でき、リース関連情報の閲覧、照会を容易に実現でき、リース情報管理の作業効率の向上を実現でき、作業負担の軽減及び管理コストの削減を実現できる。

【0046】次に、リースユーザまたはその協力会社（以下、これらを総じて顧客と称する）が管理している顧客物件管理情報の入力作業について説明する。図4は、顧客情報入力画面の一例を示している。この入力画面は、例えば、クライアント端末を用いてリース情報管理サーバ100にアクセスし、ユーザID及びパスワードによって照合されたとき、クライアント端末に表示されているメニュー画面において「顧客情報入力」が選択されたとき、クライアント端末に表示される。

【0047】図示のように、この入力画面において、まず、リース会社によってデータベース化されているリース契約情報がリース物件毎に表示される。なお、このと

きクライアント端末に表示されているリース物件情報は、選択された情報である。例えば、そのクライアント端末の所有者のアクセス権限に基づいて選択されたリース物件情報だけに限定される。また、そのクライアント端末の所有者のアクセス権限に基づき、開示できる情報または項目だけが表示され、それ以外の情報または項目を伏せている状態でクライアント端末に表示される。

【0048】図示のように、表示されているリース情報は、契約番号、検収番号、リース会社で用いられている10物件番号、検収日、契約期間、購入先名称などの情報を一覧表で表示される。クライアント端末を用いて情報の入力作業を行う管理者またはオペレータは、表示されているリース契約情報一覧表から、必要なリース物件を選択して、入力を行う。

【0049】リース物件の選択は、例えば、所定のリース物件を表示している項目、例えば、契約番号などをクリックするだけで当該リース物件に関し、顧客の物件情報を入力する画面が表示される。この入力画面において顧客によって入力する項目名を予め初期設定することができる。例えば、図4に示す画面において、顧客情報入力画面に、管理番号、シリアル番号、利用者、設置場所の順に入力する物件情報の項目が設定されている。

【0050】図4に示す入力画面において、オペレータが顧客物件情報入力画面の「入力」ボタンを選択すると、図5に示す顧客情報入力画面が表示される。図5に示すように、この入力画面に、選択されたリース物件の契約番号及び物件番号が表示される。そして、選択されたリース物件に関連する顧客情報の項目名毎に入力スペースが設けられている。

【0051】図示のように、例えば、顧客の初期設定によって、顧客物件情報の入力項目として、管理番号、シリアル番号、部門コード、社員コード、利用者名、設置場所、保守先、保守情報、IPアドレス、利用OS及びオプション情報が選択される。顧客の管理者またはオペレータは、この入力画面において、それぞれの入力項目について必要な情報を入力する。そして、すべての情報の入力が終わったとき、「登録」ボタンを選択すると、入力された顧客物件情報が通信ネットワークを介してリース情報管理サーバ100に送信される。

【0052】また、図4に示すように、一つのリース契約番号に対して、一以上の顧客物件情報を入力することができる。即ち、一つのリース契約番号に対して登録できる顧客物件情報はn（n≥1、かつnは整数である）個であり、リース契約番号とそれに付随して登録できる顧客物件情報とは、1対nの関係を有する。

【0053】そして、ここで入力された顧客物件情報は、図5に示す入力画面の先頭に表示されている契約番号、物件番号によって示されているリース物件とが紐付けされる。即ち、この入力画面によって入力される各項目の情報は、リース契約番号またはリース物件番号で示

されているリース物件に関連づけされる。このため、以降の検索処理において、顧客のシリアル番号を入力し、当該シリアル番号を検索用キーワードとして検索すれば、リース情報管理サーバ100によって保持されている顧客物件情報のうち、検索用キーワードに該当する顧客物件情報及びこの顧客物件情報に紐付けされているリース契約情報、リース物件情報がともに抽出され、クライアント端末に送信される（勿論、クライアント端末の所有者が検索情報に対してアクセス権限を有する場合である）。

【0054】次に、顧客物件情報入力画面に表示される入力項目名の初期設定について説明する。図6は、顧客物件情報の入力項目設定用画面の一例を示している。なお、この設定画面は、初期メニュー画面において、「管理情報」メニューを選択することでクライアント端末に表示される。そして、画面に表示されているサブメニューにおいて、「項目名指定」のメニューを選択することで、顧客物件情報を入力する項目を設定することができる。

【0055】図6に示すように、顧客物件情報設定画面において、入力する項目番号が表示され、各項目番号に対して項目名を入力するスペースが設けられている。オペレータが各項目番号に対応するスペースに項目名を入力することで、顧客物件情報の入力項目を設定することができる。

【0056】図示の例では、例えば、項目番号の1番から、順次に管理番号、シリアル番号、部門コード、社員コード、利用者名、設置場所、保守先などの項目名が入力される。ここで、入力できる項目名の数は、例えば60項目あり、そのうち必要な項目のみを入力することもできる。必要な項目名をすべて入力したあと、「登録」ボタンを選択することで、入力された項目名からなる入力項目一覧情報がクライアント端末からリース情報管理サーバ100に送信される。リース情報管理サーバ100において、クライアント端末から送信されてきた入力項目一覧情報が予め用意した領域に保存される。以降、クライアント端末から顧客物件情報入力の操作が選択されると、保持されている入力項目名一覧情報が記憶領域から読み出され、クライアント端末に送信されるので、クライアント端末に選択されたリース物件の契約番号及び物件番号とともに、予め登録した顧客入力項目が表示される。

【0057】次に、顧客（ここで、主に大口のリースユーザーのことを指す）が利用者登録を行う処理について説明する。なお、ここで、利用者登録とは、リースユーザーによって指定された特定の利用者、例えば、委託先の協力会社またはその管理者などをシステムに登録することをいう。この利用者登録によって、登録された利用者が自分のクライアント端末を介して、リース情報管理サーバ100にアクセスして、必要な情報を検索して利用す

ることができる。また、それ以外に、同一のリースユーザー会社内において、管理部門によってそれぞれのリース物件を使用する部署若しくは社員を利用者として登録することもできる。

【0058】以下の説明において、明白を期するため、登録を行う顧客、またはリースユーザ管理部門のことをリースユーザと言い、登録される協力会社、若しくはリース物件の使用部署などを利用者という。本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リースユーザは、複数の利用者をシステムに登録することができ、そして、それぞれの利用者に対して情報のアクセス権限を設定することができる。ここで、アクセス権限には、情報を検索、閲覧する利用権限と、情報を入力して更新する更新権限を含む。そして、本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リースユーザがそれぞれの利用者に対して、リース契約情報及び顧客物件情報のうち、項目毎に利用権限と更新権限を設定できることは大きな特徴である。

【0059】リースユーザがリース情報管理サーバ100にアクセスして、ID番号及びパスワードによって照合を受けたのち、図7に示すように、メニュー画面において「管理情報」を選択して、そして表示されているサブメニューのうち、「追加利用者新規登録」メニューを選択すると、図7に示す追加利用者新規登録画面がクライアント端末に表示される。

【0060】図7に示すように、この新規登録画面に、利用者情報として、固定の情報、例えば、本社コード、利用会社名とともに、利用者コード、利用者情報（複数可）、その利用者に付与されるID番号、パスワードなどの識別情報について項目別に入力スペースが設けられている。そして、リース会計、支払いシミュレーション、IPアドレスなどの機能を付与するか否かについて選択ボタンによって指定することができる。また、その他に、使用停止フラグとして、「0」（使用可）、「1」（使用不可）を示すフラグデータを入力可能となっている。

【0061】リースユーザは、この新規登録画面において、それぞれの項目について情報を入力または選択し、さらに「登録」ボタンを選択することで、新しい利用者をシステムに登録することができる。また、本実施形態のリース情報管理サーバ100によって、オプションサービスとして、新規登録された利用者に対して、リース契約情報及び顧客物件情報の項目毎の利用権限と更新権限を設定することができる。

【0062】図8は、利用者に対してアクセス権限を設定する画面を示している。図示のように、この設定画面において、リース契約情報及び顧客管理情報（図中において「お客様管理情報」と表記されている）が項目毎に一覧表示され、そして、各項目についてアクセス権限を設定するためのチェックボタンが設けられている。な

お、リース契約情報は、リース情報管理サーバ100によって保有し、管理されている情報なので、利用者には更新する権限がなく、利用する権限のみを設定可能となっている。一方、顧客管理情報は、リースユーザまたは利用者によって登録、管理されている情報なので、利用者には、利用する権限と更新する権限をそれぞれ設定可能となっている。

【0063】図示のように、契約情報の各項目について、「表示させない」欄の下にチェックボタンが設けられ、リースユーザによってこのボタンが選択されると、対応する項目の内容が利用者のクライアント端末に表示されなくなる。即ち、利用者には、該当する項目の内容を検索したり、閲覧したりなど利用する権限がなくなる。

【0064】次に、顧客管理情報において、それぞれの項目につき「表示させない」、「入力させない」欄の下にチェックボタンが設けられている。リースユーザによって「表示させない」ボタンが選択されると、対応する項目の内容が利用者のクライアント端末に表示されなくなる。即ち、利用者には、該当する項目の内容を検索したり、閲覧したりなど利用する権限がなくなる。また、リースユーザによって「入力させない」ボタンが選択されると、対応する項目の内容について、利用者が情報を削除、追加または変更するなど更新する権限がなくなる。

【0065】上述したように、リースユーザによって新規登録されたそれぞれの利用者に対して、リース契約情報及び顧客管理情報の各項目についてアクセス権限を設定することができる。これによって、リースユーザは、新規登録した利用者、例えば、仕事の委託先としての協力会社に対して、当該利用者がリース情報管理サーバ100からアクセスできる情報に制限を加えることができる、いわゆる提供する情報に対してフィルタリング処理を行うことができる。このため、それぞれの利用者に対して、情報の開示範囲を限定でき、さらに情報の更新の可否を設定でき、リース情報をより管理しやすくなり、リース情報の機密保持レベルを細かく設定可能であり、管理者の処理負担を軽減できる。

【0066】図9は、本実施形態のリース情報管理システムの全体の情報の流れ及びクライアント端末の表示画面の概要を示している図である。以下、この図を参照しつつ、本実施形態のリース情報管理システムの全体の動作についてまとめて説明する。

【0067】図9に示すように、本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リース情報管理サーバ100の記憶装置110において、リース契約情報をまとめて構築されたリース契約情報データベース(DB)120と、顧客物件情報をまとめて構築された顧客物件情報データベース(DB)130がそれぞれ記憶されている。そして、これらのデータベースに蓄積した情報が、要求

に応じて通信ネットワークを通じて、クライアント端末に提示される。

【0068】クライアント端末には、リースユーザによって所有されているものと、リースユーザによって登録された利用者によって所有されているものがあり、これらのリースユーザ及び利用者に、それぞれリース情報管理サーバ100に格納されているリース情報に対するアクセス権限が設定される。リース情報管理サーバ100は、情報検索、情報更新、新規情報登録などの要求を受けたとき、要求をしたクライアント端末の所有者のアクセス権限に基づき、その要求を受け付けるか、または拒否する。

【0069】リースユーザまたは利用者が情報検索を行うとき、そのクライアント端末から「情報検索」処理を選択し、表示画面において検索情報を入力し、検索指示をすれば、そのクライアント端末からリース情報管理サーバ100に検索要求が送信される。これを受けたリース情報管理サーバ100は、そのクライアント端末の所有者のアクセス権限に基づき、検索を行い、該当する情報を開示するか、または情報検索の要求を拒否する。また、同様に、リースユーザまたは利用者によってクライアント端末画面から「情報更新」処理が選択されたとき、更新する情報の項目が入力する画面が表示され、これに従って更新情報を入力すれば、クライアント端末からリース情報管理サーバ100に情報更新要求が送信される。これを受けたリース情報管理サーバ100は、そのクライアント端末の所有者のアクセス権限に基づき、情報を更新するか、または情報更新の要求を拒否する。

【0070】また、本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リース情報管理サーバ100によって、リースユーザ及び利用者に、それぞれ独自で管理している顧客物件情報をデータベース化して記憶する領域が提供されている。このため、リースユーザまたは利用者は、顧客物件情報をシステムに登録することで、リース情報管理サーバ100によって、顧客物件情報をデータベース化して保存される。さらに、リース会社によって管理されているリース契約情報とリースユーザ及び利用者によって管理されている顧客物件情報が新規登録の時点で関連づけされ、何れの検索情報に基づきリース契約情報及び顧客物件情報の内容を検索し、必要な情報を素早く抽出することができる。

【0071】さらに、本実施形態のリース情報管理システムにおいて、リースユーザが利用者(複数可)を新規登録することができ、さらに登録された各利用者に対して、リース契約情報及び顧客物件情報の項目毎にアクセス権限を設定することも可能である。これによって、新規登録された利用者の情報がそのアクセス権限情報とともにリース情報管理サーバ100に送信されるので、リース情報管理サーバ100は、それぞれの利用者から情報検索、情報更新などの要求を受けたとき、その利用者

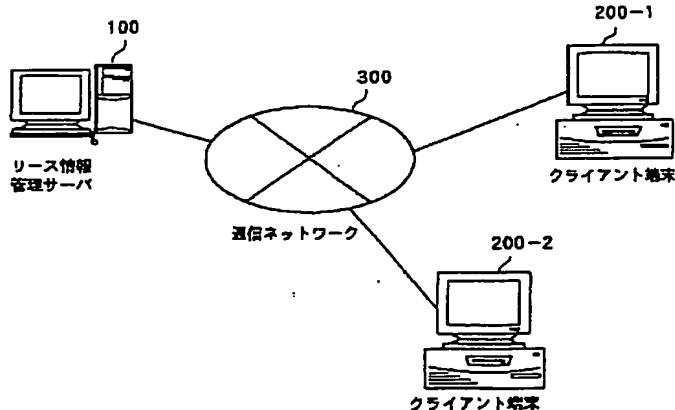
のアクセス権限に基づき、アクセス権限のある情報を開示したり、情報更新をしたりし、アクセス権限のない項目について情報を開示しない、または情報更新を拒否することができる。

[0072]

【発明の効果】以上説明したように、本発明のリース情報管理サーバ、リース情報管理システム及びその制御プログラムによれば、リース会社、リースユーザ及び他の利用者によってそれぞれ個別に管理されているリース関連情報を一元的に管理できる。また、リース会社によって管理されているリース契約情報とリースユーザ及びその他の利用者によって管理されている物件管理情報を関連づけて情報管理ができるので、リース契約情報または物件管理情報の何れかの検索情報ですべての情報を検索、照会することができ、リースユーザまたはその利用者に予め付与されているアクセス権限に基づき必要な情報を開示または更新し、情報の検索、照会及び変更を容易に実現でき、リース物件管理業務の迅速化と管理事務の効率化をはかることができる。さらに本発明によれば、利用者の属性などによって予め設定されたアクセス権限に基づきアクセス可能な情報を限定でき、情報管理の利便性を向上できるほか、リース関連情報の機密保持レベルを細かく管理でき、情報の漏れを防止する利点がある。

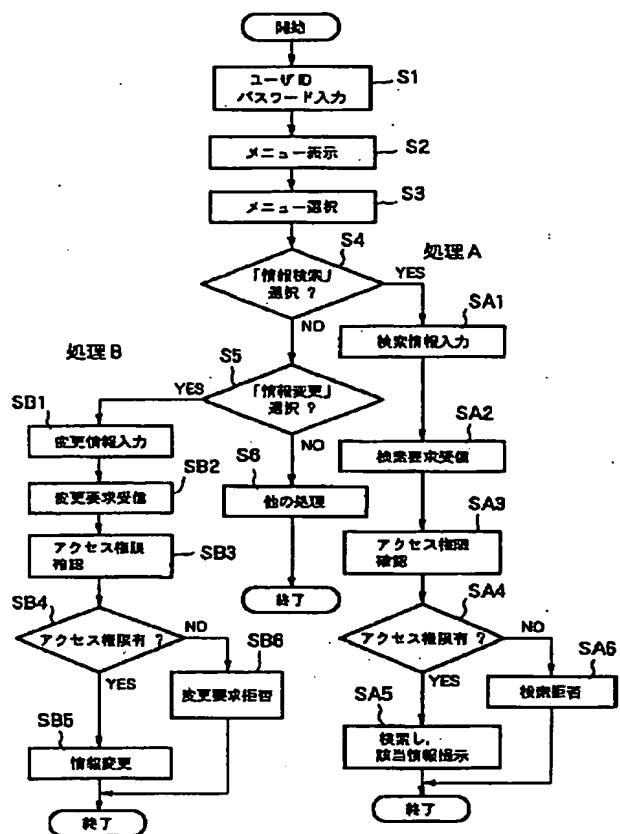
### 【図面の簡単な説明】

[ 1]



[図5]

【図2】



【図7】

【図3】

[ 4]

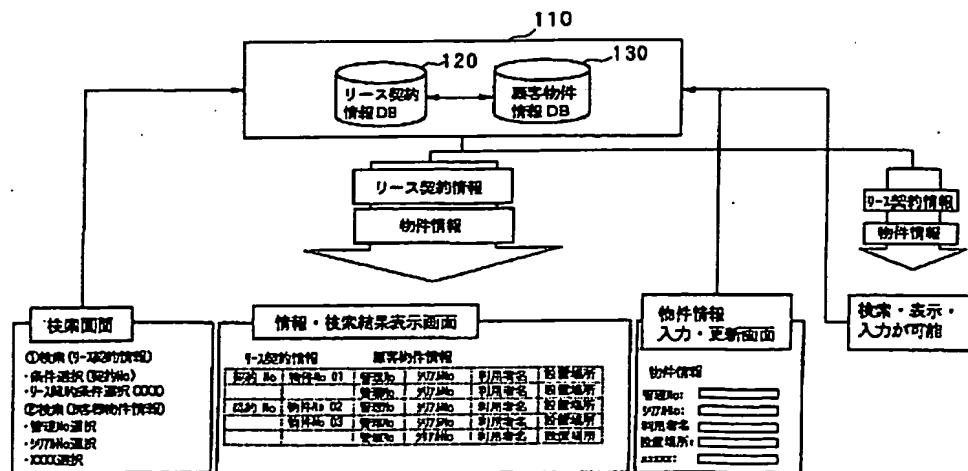
【图 6】

CON-3A-44-1 A-1 連絡情報 連絡用紙 連絡合意 (P74)

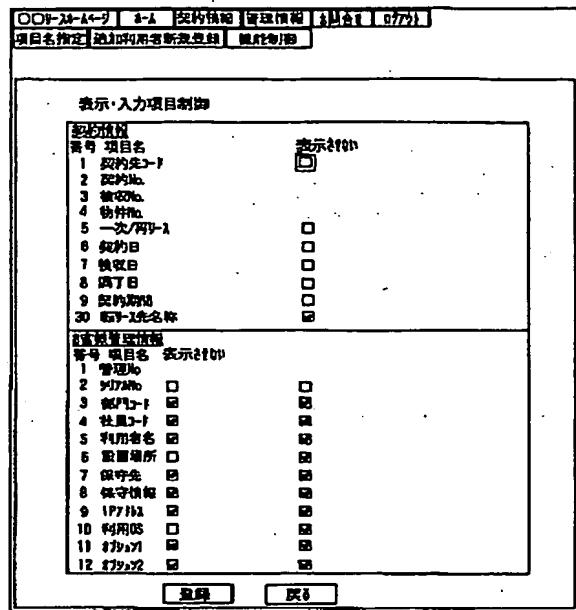
項目名作成: 連絡用紙新規登録 連絡用紙

01	連絡名 (C: 追加入力用 (Cn))
1	管理No
2	シリアルNo
3	送信ポート
4	送信ユーザー
5	利用者名
6	送信場所
7	保守者
8	取扱説明
9	IPアドレス
10	利用日数
11	オプション1
12	オプション2
13	
14	

【図9】



【図8】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. 7  
G 06 F 17/30識別記号  
120F I  
G 06 F 17/30マーク\* (参考)  
120B

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record.**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**